

2024 年度

ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校
(旧 ミス・パリ エステティック専門学校)

自己評価報告

2025 年 4 月

学校法人ミスパリ学園

ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校

2024年度 自己評価について

学校法人ミスパリ学園が運営するミス・パリ エステティック専門学校は、大阪市北区曾根崎に2010年4月に開校しました。同時期に姉妹校であるミス・パリ エステティック専門学校名古屋校（愛知県名古屋市）も開校しております。

本校の前身となるミスパリエステティックスクールは、1990年にエステティックに関する教育を本格的に開始し、常に先進的な理論と技術を教授し、その授業時間も300時間、1,000時間と増やすことにより、カリキュラムを充実させてきました。また学生がより興味と意欲を持って学習する環境を構築するため、2015年度入学生から選択コースを実施しております。

専修学校として再スタートを切る際には、全国でもあまり類を見ない2年間で2,085時間という非常にハイレベルのカリキュラムを編成し、即戦力人材の育成に注力し、有為な人材を関係業界だけでなく他分野にも多数輩出してまいりました。

しかしながら、時代の変化に伴い、学校名がエステティックとなっていることで、美容に興味を持った幅広い層に誤解を与えるケースが多くみられました。そこで、2025年4月1日校名を「ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校」へ変更し、トータルビューティに興味を持った層へ浸透させ、関係業界における即戦力の育成や関係業界の発展に寄与してまいります。

これからも本校の教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を基本とし、教育内容の更なる充実を図り、日本のみならず世界で活躍できる人材育成に向け、教職員一同努力してまいります。

以下にあるとおり2024年度の自己評価の取り組み状況をご報告いたします。

自己評価の目的は、本校に関する各項目を教職員が客観的に評価することにより、改善点を見出し、更に実践的な教育プログラムを充実させることにより、学生はもとより教職員の質の向上に資するものです。

学生が卒業後も活躍できる環境の醸成に向け、今後も引き続き、企業や業界団体の皆様のご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

1. 評価実施期間

2024年4月1日～2025年3月31日

2. 実施方法

(1)校長以下、教育課主任が中心となり、各教職員が連携して
評価を行う。

(2)評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし作成。

(3)評価は、年度終了後速やかに行い、年1回行うこととする。

(4)評価結果は、学校関係者評価委員に報告するとともに、現状と今後の改
善、解決に向けた取り組み等を公表することとする。

3. 自己評価の項目

(1)教育理念・目標 (2)学校運営 (3)教育活動 (4)学修成果
(5)学生支援 (6)教育環境 (7)学生の受入募集 (8)財務
(9)法令等の遵守 (10)社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価

評価は5段階とし、

5：良好 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

以上

2024年度 ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校 自己評価表

(旧 ミス・パリ エステティック専門学校)

1. 学校の教育目標

本校の教育理念「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を念頭に、学校法人ミスパリ学園としての自覚と自負の下、「充実した教育課程」「学生獲得」「就職確保」の3本柱を全教職員の力で全うし、わが国トップクラスのトータルビューティの専門学校を目指す。

2. 重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 教育の質の向上、魅力的で楽しく、充実した内容の授業を行う。講師の評価制度を確立する。
- 2) 募集定員の確実な達成を図る。
- 3) 学生の遅刻・欠席をなくし、進級率 90%・就職率 100%を達成する。
- 4) 学生の体力、人間力の向上を図る。
- 5) 働くことの意義を理解し、社会で活躍できる人づくりを行う。
- 6) 即戦力になる人づくりを行う。
- 7) 学園（姉妹校4校）の協力により、相乗効果を上げる取り組みを行う。

3. 自己評価

良好…5 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

(1) 教育理念・目標

| | 評価項目 | 評価 | 前年度 | 現状 | 課題・改善案など |
|---|---|----|-----|---|--|
| 1 | 学校のビジョン及びそれを実現するための方針を策定しており、かつ、教職員に理解されているか | 5 | 5 | (1)-1 講師研修で毎年方針を伝え職員に周知している | 昨年度と同様にオリエンテーション・保護者会・個人面談を通じて、当校の教育理念や教育目標を学生と保護者に周知する 講師研修や個人面談を行い、教職員に現状把握と改善、次年度目標に繋がる方針を設定する |
| 2 | 特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び求められる人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか | 5 | 5 | (1)-3 教育理念教育方針を「学生の手引き」に明記すると共に保護者会で学生と同様の内容を説明し、保護者からの理解と協力を得ている | |
| 3 | 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生や保護者等に周知されているか | 5 | 5 | | |
| 4 | 目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか | 5 | 5 | | |
| 5 | 教育目標、育成人材は学科等に対する社会のニーズに向けて方向付けられているか | 5 | 5 | | |

(2) 学校運営

| | 評価項目 | 評価 | 前年度 | 現状 | 課題・改善案など |
|----|---|----|-----|--|---------------------------------------|
| 1 | 事業計画等に沿った運営方針が策定されているか | 5 | 5 | (2)-2 年 2 回の授業アンケートの結果から学生の意見を汲み取り、学校運営や授業に反映しやすい環境を整えている (2)-6 学生の意見と同様、校長が教職員の意見を参考に学園全体の取り組みとして整備をしている (2)-7 担当責任者の育成により、教務・キャリア・学生募集の構図が明確となり組織整備が円滑に進んだ | 業務の生産性の向上と安定した学校運営を実現すべく、人材育成のための人員確保 |
| 2 | 学校運営などに学生の意見が反映されているか | 5 | 5 | | |
| 3 | 地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元開放しているか | 4 | 4 | | |
| 4 | 地域との協力関係が確立されているか | 4 | 4 | | |
| 5 | 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されていて、有効に機能しているか | 5 | 5 | | |
| 6 | 人事・給与等に関する規程等は整備されているか | 5 | 4 | | |
| 7 | 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか | 5 | 4 | | |
| 8 | 教職員の健康診断を実施しているか | 5 | 5 | | |
| 9 | 各種システム化等により業務の効率化が図られているか | 4 | 4 | | |
| 10 | ホームページは、適宜更新し、見やすくしているか | 5 | 5 | | |
| 11 | 学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか | 5 | 5 | | |
| 12 | 学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか | 5 | 5 | | |

(3)教育活動

| | 評価項目 | 評価 | 前年度 | 現状 | 課題・改善案など |
|---|---|----|-----|---|---|
| 1 | 教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか | 5 | 5 | (3)-2 (2)-2 と同様に授業アンケートの結果や教育課程編成委員会での意見を反映させ業界や時代のニーズにあった授業内容に修正している | 資格試験対策として、模擬試験を早期に行うなど工夫をしている 学年により習熟度も異なるため、学年ごとの特色を見極め、資格試験対策を行う |
| 2 | 定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか | 5 | 5 | | |
| 3 | シラバス（授業計画書）は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか | 5 | 5 | | |
| 4 | 効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか | 5 | 5 | | |
| 5 | 授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか | 5 | 5 | | |
| 6 | 学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価は公平性・妥当性が保たれているか | 5 | 5 | | |
| 7 | 評価結果による教員面接・指導が行われているか | 5 | 5 | | |
| 8 | 未修了科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか | 5 | 5 | | |
| 9 | 資格対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか | 5 | 5 | | |

| | | | | | |
|----|---|---|---|---|--|
| 10 | 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 4 | 4 | (3)-15 学内サロン運営や海外研修、外部講師による講習から様々な経験を経て、職業選択を行っている (3)-16 教育課程編成委員会や関係者評価委員会など学校運営を見直す機会を設けている | 引き続き教職員の指導力のアップが必要 「人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教職員」の増員 |
| 11 | 教職員のスキルアップのための研修を行っているか | 5 | 5 | | |
| 12 | 研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか | 5 | 5 | | |
| 13 | 教職員の授業を他の教職員、または外部関係者が参観、講評できる制度があるか | 5 | 4 | | |
| 14 | 教職員による自己評価が定期的に行われているか | 5 | 5 | | |
| 15 | インターンシップ等を利用して、職業選択について深く考える契機を提供出来ているか | 5 | 4 | | |
| 16 | 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 5 | 5 | | |

(4) 学修成果

| | 評価項目 | 評価 | 前年度 | 現状 | 課題・改善案など |
|---|--|----|-----|--|---|
| 1 | 学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か | 5 | 5 | (4)-1 例年エステティシャン希望者は7月末、美容総合職は9月末の就職内定を目標としている。 (4)-4 就職先企業から定期的に卒業生の状況報告を頂き問題点がある場合は、就職先企業と連携し解決している | 今後も就職率 100 パーセントを維持するべく、就職活動支援を早期化し、学生の就職に対する意識を高める |
| 2 | 学生の資格取得目標を設定し、その結果検証をおこなっているか | 5 | 5 | | |
| 3 | 中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか | 5 | 5 | | |
| 4 | 卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じているか | 5 | 5 | | |

(5) 学生支援

| | 評価項目整って | 評価 | 前年度 | 現状 | 課題・改善案など |
|---|----------------------------------|----|-----|---|---|
| 1 | 学生の心身面での健康管理体制があるか | 4 | 4 | (5)-1 定期的に保健師による講話を行い、健康について考えるようにしている。その結果、不安の解消や退学防止の一助となっている (5)-5 日本学生支援機構、日本政策金融公庫など何らかの支援を受けている学生が増加している為、学費サポート制度など学生支援の体制を整備している | 学生からの多岐に渡る相談内容に加えて、相談件数の増加により業務が滞り人員不足を実感していることから、学園全体でスクールカウンセラーの導入等検討事項となっている |
| 2 | 学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じているか | 5 | 5 | | |
| 3 | 学生のクラブ活動やボランティア活動などの自主活動を支援しているか | 4 | 4 | | |
| 4 | 災害など非常時の危機管理体制が整っているか | 5 | 5 | | |
| 5 | 奨学金等の経済的支援があるか | 5 | 5 | | |
| 6 | 学費減免、学費分納制度があるか | 5 | 5 | | |
| 7 | 学生寮を保有、または紹介をしているか | 5 | 5 | | |
| 8 | 卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか | 5 | 5 | | |
| 9 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境は整備されているか | 5 | 5 | | |

(6) 教育環境

| | 評価項目 | 評価 | 前年度 | 現状 | 課題・改善案など |
|---|---------------------------------------|----|-----|--|--|
| 1 | 教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されているか | 4 | 4 | (6)-1 学校施設・備品・教材は学習に影響が出ないように学生や教職員の意見を取り入れて整備を行った (6)-3 防災訓練・避難訓練を実施している | 定期点検や補修については適宜行っている 次年度は外壁工事を予定している |
| 2 | 施設・設備等の定期点検、補修等について適切に対応しているか | 5 | 5 | | |
| 3 | 教職員・学生に防災研修・教育を行っているか | 5 | 5 | | |
| 4 | 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか | 5 | 5 | | |

(7) 学生の受入募集

| | 評価項目 | 評価 | 前年度 | 現状 | 課題・改善案など |
|---|--|----|-----|---|--|
| 1 | 学生募集計画があるか。また成果は十分か | 5 | 3 | (7)-1 学費相談会を開催し入学時の学費納入の不安を解決する事で、エントリーや出願後の辞退が減少した | 引き続き入学検討者に「5つのステップ」を意識して貰い、来校や入学に繋がる環境を整える 特別イベントは高校生が興味を持ちやすい内容を検討し、メイクやダイエット以外のイベントの開催を予定している |
| 2 | 学校案内等には育成人材像が明示されているか | 5 | 5 | | |
| 3 | 学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか | 5 | 5 | | |
| 4 | 学校案内等には学費・教材費が明示されているか | 5 | 5 | | |
| 5 | 入学（予定）者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか | 5 | 5 | | |

(8) 財務

| | 評価項目 | 評価 | 前年度 | 現状 | 課題・改善案など |
|---|--------------------------------------|----|-----|---------------------------------------|----------|
| 1 | 予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか | 5 | 5 | (8)-1 (8)-2 会計士・税理士・監事により適正に実施している | 特になし |
| 2 | 財務について会計監査が適正に行われているか | 5 | 5 | | |
| 3 | 財務情報公開の体制整備はできているか | 5 | 5 | | |

(9) 法令等の遵守

| | 評価項目 | 評価 | 前年度 | 現状 | 課題・改善案など |
|---|----------------------------------|----|-----|---|------------------------------------|
| 1 | 法令や専修学校設置基準を遵守しているか | 5 | 5 | (9)-1 専門学校設置基準に基づいて、適正に運営を行っている (9)-3 十分に注意し、教職員には勿論学生にも指導している | 引き続き個人情報の取り扱いに対する意識強化を図り、管理体制を徹底する |
| 2 | 学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか | 5 | 5 | | |
| 3 | 学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか | 5 | 5 | | |
| 4 | 自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善につとめているか | 5 | 5 | | |
| 5 | 自己評価結果を外部に対して公表しているか | 5 | 5 | | |

(10) 社会貢献・地域貢献

| | 評価項目 | 評価 | 前年度 | 現状 | 課題・改善案など |
|---|---------------------------------------|----|-----|--|----------|
| 1 | 学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか | 5 | 4 | (10)-1 国内外の学校や提携校の施設を活用し、高校生や高校教員また在校生にも学習支援の機会を設けている | 特になし |
| 2 | 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか | 5 | 5 | | |
| 3 | 受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか | 5 | 5 | | |
| 4 | 学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか | 5 | 5 | | |